

講座・部門紹介

微生物学講座では、純粋な基礎医学としてウイルス学を研究する傍ら、微生物の新たな同定法を開発し、症例を解析することによって新たな感染症を発掘することに取り組んでいます。これらの研究は福島医大の臨床講座はもとより、国内多くの大学の臨床講座との共同研究として進められています。また、感染症の予防に役立つ健康食品の開発も行っています。感染症に興味のある方は一緒に研究しましょう。

staff スタッフ紹介



教授 錫谷 達夫

昭和52年 北海道立札幌西高等学校卒業
昭和58年 旭川医科大学卒業
昭和62年 旭川医科大学大学院医学研究科
修了

教育専門分野

- 1) 微生物学
- 2) 感染症学

研究分野

- 1) ヘルペスウイルスの分子生物学
- 2) 新たな細菌・真菌同定法の開発
- 3) 健康食品

研修医、臨床医入学時の研究分野

1. 各科が抱えるヘルペスウイルス（単純ヘルペスウイルス、水痘-帯状疱疹ウイルス、サイトメガロウイルス）感染症の研究。
2. 現行の臨床検査では診断できない細菌、真菌感染症を診断し、新たな微生物による疾患を解析する。

講座・部門の主な研究内容

1. 単純ヘルペスウイルス、水痘帯状疱疹ウイルス、サイトメガロウイルスの分子生物学ならびに疾患発症機序の解明
2. 細菌、真菌感染症の新たな診断法の開発とそれを用いた臨床症例の解析
3. 食品の機能性や抗菌・抗ウイルス作用を持つ物質の探索

講座・部門からのメッセージ

一般細菌検査で行われている「微生物を分離培養し、生化学的性状から同定する」という手段は、一般的な細菌・真菌感染症を診断し、治療法を決定するゴールドスタンダードとして広く使われています。しかし、我々に常在している細菌の多くは未だ培地上で培養する方法が確立されておらず、既存の検査法では診断できない感染症が予想外に多く臨床の場に存在します。本講座では微生物の遺伝情報を利用し、培養できない微生物、これまで病原微生物として報告されたことのない微生物、さらには未だ種として登録されていない微生物をも含め、既存の方法では診断できない感染症を臨床の各科と共同で解析しています。感染症に興味をお持ちの方、お待ち致しております。